

## エコと笑顔の万博写真集出版

愛・地球博（愛知万博）で使われた使用済み段ボールを表紙などに再利用した写真集「Merry EXPO Book of global exchange」が15日出版される。会場などで撮影した子どもの笑顔の写真とメッセージを収録した。

写真集を出版するのは、東京のアートディレクター、水谷孝次さん。学生らと町のごみ拾いをしたり、人々の笑顔を撮ったりする活動「メリー（幸せ）・プロジェクト」を続けている。

万博会期中、水谷さんは会場で来場者の笑顔を撮影した。「あなたにとってメリーとは？」という質問に答えたメッセージとともに、会場の大型画面に映し、評判となった。

写真集にはこれらに加え、水谷さんがこれまでに世界中で撮影した2万人以上の笑顔の中から、300人以上の子どもの写真と1000人以上のメッセージを収録した。

「環境を重視した万博での活動をどういう形で記録に残そうか」と考えているうち、不要になった段ボールを利用して写真集を出すことを思いついた。段ボールは、万博終盤から閉幕後まで、スタッフがパビリオンなどを回って集めた。写真集の表紙と裏表紙にするため、カッターナイフで裁断し、テープで製本した。

水谷さんは、阪神大震災（1995年）の後、復興に取り組む神戸市内で、人々を勇気づけようと、街中に笑顔のポスターを飾った活動などで知られる。

「笑顔は世界共通のコミュニケーション。国内では暗い事件が続くが、子どもたちに笑顔を取り戻してほしい」と話す。

6000部作製。税別1500円。売り上げは、南アフリカに学校を作るため役立てたいという。

主要書店や同プロジェクトのサイト(<http://www.21merry.net/>)から購入できる。問い合わせは、水谷事務所（03・3478・1931）へ。

（2005年12月14日 読売新聞）

写真の拡大



愛知万博で使われた段ボールを表紙に再利用した写真集。「手に取ると温かい味わいがあります」と水谷孝次さん